

令和6年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

学校の概要

大國小	学校	児童数	25
-----	----	-----	----

平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	16.50	16.60	30.70	38.00	45.40	10.15	137.30	20.60	48.40
大阪市	15.78	19.09	32.72	38.56	45.05	9.52	147.96	20.45	51.13
全国	16.01	19.19	33.79	40.66	46.90	9.50	150.42	20.75	52.53
女子	16.13	19.40	36.20	40.40	38.87	9.76	149.07	13.57	55.64
大阪市	15.64	18.06	37.62	36.76	34.65	9.83	139.56	12.71	52.47
全国	15.77	18.16	38.19	38.70	36.59	9.77	143.13	13.15	53.92

結果の概要

- ・本校男子では、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、50m走、立ち幅とびで、大阪市男子平均を下回ったものの、握力、20mシャトルラン、ソフトボール投げにおいて、大阪市男子平均を上回った。
- ・本校女子では、長座体前屈で、大阪市女子平均を下回ったものの、握力、上体起こし、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げにおいて、大阪市女子平均を上回った。
- ・体力合計点において、本校男子は大阪市男子平均を下回り、女子は大阪市女子平均を上回った。
- ・「運動やスポーツをすることは好きですか」という問いに対して、肯定的に答えた本校児童の割合は、男子では大阪市平均より6.6%高く、女子では4.5%低かった。
- ・1週間の総運動時間が60分未満の児童の割合は、本校男子は0%、女子は6.7%であった。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

体育科の授業の始めにしっかりと準備運動を行うことで、怪我の防止に努めている。また、休み時間には教員が子どもたちと一緒に遊んだり、サッカーやドッジボール、一輪車、竹馬、長なわとび、おにごっこをしたりすることで、運動する機会が増え、子どもたちの基礎体力の増進につなげられている。

学校全体では「かけ足・なわとび週間」「マラソンカード」「なわとびカード」などに取り組んできた。目標達成に向かって身体を動かす機会が増え、運動することの楽しさに気づく子どもが増えた。

以上のような取り組みを行ってきた結果、多くの種目で大阪市平均を上回ることができた。男子では「運動することが好き」「スポーツは大切である」と回答する児童の割合が100%、女子では体力合計点が大阪市平均より3.17%上回ることができたのも、これまでの取り組みの成果と言える。今後は、「あいうべ体操」「姿勢体操」など、健康についての指導を引き続き行うとともに、柔軟性を高めたり、持久力や走力を向上させたりするための取り組みを健康教育部中心に計画し、実施していく。

また、「朝食を毎日食べる」と回答した割合が、男女ともに大阪市平均よりも低く、「テレビやDVD、ゲーム機、スマートフォン、パソコンなどの画面を見ている時間」は、男女ともに大阪市平均よりも長かった。家庭での基本的な生活習慣の見直しが児童の喫緊の課題であると言える。児童への指導だけではなく、学校だよりやホームページなどを活用し、保護者への啓発も併せて進めていく。